

会 議 記 録			
会議の名称	予算特別委員会（全体会）		会議場所 全員協議会室 担当職員 加藤 太郎
日 時	令和5年3月22日（水曜日）		開 議 午後1時30分 閉 議 午後2時48分
出席委員	◎富谷 ○浅田 松山（総務文教分科会◎）大塚（環境市民厚生分科会◎）木村（産業建設分科会◎） 竹内 大西 林 法貴 小林 大石 土岐 片山 原野 山木 梅本 小川 福井 三上 山本 平本 齊藤 西口 <菱田議長>		
執行機関 出席者			
事務局 出席者	井上事務局長、数井次長、加藤副課長兼議事調査係長、佐藤主任、小野主任		
傍 聴	可	市民1名	報道関係者0名 議員0名（-）

会 議 の 概 要

13:30

[富谷委員長 開議]
[事務局長 日程説明]

1 予算審査

(1) 分科会委員長報告（報告、質疑）

<富谷委員長>

ただいまから分科会委員長報告と報告に対する質疑を行う。

[松山総務文教分科会委員長 報告]
[大塚環境市民厚生分科会委員長 報告]
[木村産業建設分科会委員長 報告]

<富谷委員長>

分科会委員長報告に対する質疑はないか。

<福井委員>

環境市民厚生分科会委員長と産業建設分科会委員長に質疑する。採決の結果、賛成多数で可決したものがあつたが、反対の理由を述べられた討論はなかつたか。

<大塚環境市民厚生分科会委員長>

第1号議案一般会計予算に関して、緊急通報装置の貸出しを無料化するべきとの反対討論があつた。

<木村産業建設分科会委員長>

第1号議案一般会計予算についての討論はなく理由は分からないが、一人の方が議案に反対された。また、第8号議案水道事業会計予算についても討論はなかつたが、水道料金の基本料金のことをおっしゃっている意見があつた。

<平本委員（副議長）>

総務文教分科会委員長にお尋ねする。育親学園の通学路の階段について、一般質問でも同じような内容が出ていたが、所管からの説明や審査時の質疑の概略をお伝え

いただきたい。

<松山総務文教分科会委員長>

御承知のとおりこの階段は非常に急であるが、現状でも中学生が通学路として使われている。総務文教分科会で現地を視察し実際に現場を見て、改修するべきことを確認させていただいた。階段を一度平面化して小学生低学年の子どもが歩きやすいように改修していくとの説明であった。学校生活が安全に送れるように低学年に配慮して整備するべきと当分科会から指摘要望したものである。また、詳細な通学路や班編成等に関しては、地域のブロック協議会で検討を鋭意進めており、詳しい内容はまだ決まっていないと聞いている。

<平本委員（副議長）>

現地視察した印象として、現状の階段では低学年の子どもにはしんどいとの見立て、このような指摘要望を付けたということか。主観でもよいのでお聞かせ願いたい。

<松山総務文教分科会委員長>

富谷委員長のお許しがあれば、私の主観を述べさせていただく。

<富谷委員長>

結構である。

<松山総務文教分科会委員長>

現地を実際に見て非常に急な階段であると感じた。ランリュックを背負っているの、低学年児童には負担が大きいのではないかと。そのようなことを亀岡市としてしっかりと認識した上で、階段整備に当たっていくべき事案であると思っている。

<平本委員（副議長）>

執行部は改善に向けて積極的に検討するような話であったのか確認したい。

<松山総務文教分科会委員長>

階段の凸凹した箇所を平面化する予算がついている。教育委員会では、階段に手すりをつけることや子どもがどのような動線で歩くのかを含めて、ブロック協議会と連携した上で判断していきたいということである。今後、総務文教常任委員会ですっきりと注視していきたいと思っている。

<平本委員（副議長）>

内容が大体分かった。これで結構である。

<齊藤委員>

総務文教分科会委員長にお尋ねする。委員長報告の中で「デジタルファースト宣言に基づき、行政手続きのオンライン化をはじめとした自治体DXを推進する」とあったが、経費削減も含めてどのような話であったのか。

<松山総務文教分科会委員長>

総務文教分科会の質疑の中では、一定の効果があって、削減できた時間を市民に寄り添えるような業務に充て、市政運営の効率化を図っているとの答弁であった。詳しい数値としては、RPA保守・運用支援業務委託料についての中身として、実質21業務で928時間、日数換算すれば120日分減ということであった。

(2) 委員間討議

<富谷委員長>

委員間討議を実施するかお諮りする。その際、論点を明確にした上で発言願う。意見はないか。

<三上委員>

総務文教分科会から指摘要望したローカルプレス発行業務委託料については、分科会でかなりの時間をかけて審査している。広報経費として認めるとの声が多かったが、環境市民厚生分科会にもまたがる事業であり、環境市民厚生分科会での議論の様子や意見を聞きたいと考えるので、委員間討議に取り上げられるよう諮っていたききたい。

<富谷委員長>

三上委員から、ローカルプレス発行業務委託料について、環境市民厚生分科会に重なる部分もあり、委員間討議に取り上げたいと申出があるがどうか。

<福井委員>

総務文教分科会所管の広報経費として計上されたローカルプレス発行業務委託料250万8,000円は、シティプロモーションとして取り組む予算であると思う。環境市民厚生分科会所管で環境衛生費の動物管理指導経費にも犬の啓発関係の予算30数万円が上がっていると思う。三上委員はそのようなことをおっしゃっている。

<三上委員>

委員間討議に取り上げていただければ、詳しく説明したい。

<富谷委員長>

環境市民厚生分科会では、その経費に対する質疑がなかったのが現状である。

<三上委員>

少し論点を申し上げたい。福井委員からあったように、この経費は、一般会計予算(案)施策の概要(市長公室)2ページの広報経費として出てきたものである。昨年、朝日放送グループホールディングスと包括連携協定をしてシティプロモーションをやっていくことになり、その一環で地域資源を活用したまちの売り込みについて、ワーキンググループで議論されたようである。その中で若手職員から発案されたものであり、円山応挙が描いた犬、盲導犬訓練センター、映画クイールなど、亀岡市の新たな地域資源として「犬」に焦点を当てることが取り上げられた。地域資源としての「犬」をもとに広報活動するという説明であればよかったが、環境市民厚生分科会の中では、犬と暮らしやすいまち亀岡事業アンケート郵送代として35万3,000円が計上されており、当初予算(案)主要事項説明書では「犬と暮らしやすいまち亀岡」推進事業として示されている。犬好きの人が集まる犬と暮らしやすいまち、犬が暮らしやすいまちは人も暮らしやすいまちとして、そのようなまちを目指す取組であると説明された。分科会での所管からの説明、市長質疑での答弁、市長質疑後に所管の室長から聞いた内容がバラバラである。亀岡市を売り出すために、今回は「犬」をテーマにやってみようという広報の事業であるはずが、まちづくりの中身としていつの間にか後づけで話しを出して、それを議会は聞かされたわけであり、予算を審査する側としてこのまま予算を通してよいのかと思う。市民から亀岡市は犬を大事にするまちづくりを進めるのかと尋ねられたが、我々議員はこの予算について説明責任を果たさなければならない。環境市民厚生分科会での議論がどうであったのかを踏まえて改めて討議し、予算そのものの議論ではないかもしれないが、しっかりと重きを置いて考えたほうがよいと思う。見栄えがよい事業名をつけて、誤解を生むようなことをしてはいけないと思うので、皆さんの意見を聞きたい。

<富谷委員長>

この内容については、総務文教分科会で委員間討議も含めて議論を尽くしていただいたが、全体会でも委員間討議をしたいとのことである。委員間討議を実施するかどうか意見はあるか。意見がなければ討議にならないがどうか。

<小川委員>

三上委員から説明があったが、市長質疑でローカルプレス発行業務委託料についてお聞きした。事業名と内容が分かりにくいとの話も一部であったが、私は一定理解したので討議する必要はないと思う。また、市長質疑の中で犬を含めたペットに関する現状を調査するとの話があり、今後事業の進め方を見ていきたいと思うが、今のところはこれでよい。

<平本委員（副議長）>

一般会計予算（案）施策の概要（環境都市推進部）3ページに、犬と暮らしやすいまち亀岡事業アンケート郵送代353,000円とあるが、先ほど富谷委員長からあったように、環境市民厚生分科会では特に議題とならず質疑はなかった。その上で市長から説明を聞く限り、テーマについての受け止め方がいろいろあるとは思いますが、私は市長質疑の中での議論で十分納得できた。

<富谷委員長>

この件については委員間討議をしないこととする。ほかに委員間討議したい案件はあるか。

[特になし]

<富谷委員長>

委員間討議なしとして議事を進めることとする。ここで一旦休憩を入れ、会派会議を実施いただき、休憩後に討論と採決を行う。会議再開時刻は、午後2時35分とする。

14:17

<暫時休憩14:17~14:35>

14:35

(3) 討論

<富谷委員長>

ただいまから討論を行う。討論は一括で行う。

<三上委員>

共産党議員団を代表して、第1号議案一般会計予算と第8号議案水道事業会計予算に反対の立場で討論する。会派として前期から毎年予算要求書を出しており、その中でも今市民の暮らしが大変な中で支援する予算だてを求めてきたが、そういったものが計上されていない。それより優先度が低いものを予算化することに反対であり、幾つかの項目・経費について、詳しくは本会議で述べさせていただく。水道事業会計予算については、提出された議案の中身そのものに反対ではないが、水道料金の引下げや減免等を求めている市民の声が多くある中で、議会に予算提案権がないことから、一般会計予算を差し戻して改めて水道事業会計予算に繰入れるような予算を組まれたいとの思いで反対するものである。

<大石委員>

新清流会を代表して、第1号議案一般会計予算に賛成の立場で討論する。歳入の確

保に向けてしっかりと取り組まれており、歳出面においては、1点目にふるさと力向上基金をうまく使って新規施策を展開されていること。2点目に環境先進都市としての取組がしっかりと進んでいること。3点目に子どもファースト宣言による取組を実施する予算が計上されていること。これらの点を踏まえて、おおむね適切な予算であると考え、市民福祉の増進にしっかりとつながっていることを確信し、賛成討論とする。詳しくは本会議で説明する。

<大塚委員>

経政会を代表して、第1号議案一般会計予算に賛成の立場で討論する。詳しい内容は本会議で発表する。

<土岐委員>

かめおか党を代表して、第1号議案一般会計予算に対して、賛成の立場で討論する。「人と時代に選ばれる リーディングシティ亀岡」第5次亀岡市総合計画の着実な推進のための予算が計上されている。ふるさと納税による歳入確保もされており、本市がますます発展することに大いに期待している。詳しくは本会議で述べさせていただきます。

<山本委員>

公明党議員団を代表して、第1号議案一般会計予算に賛成の立場で討論する。第5次亀岡市総合計画を着実に進めるための予算であり、原油価格・物価高騰など地方財政を取り巻く社会情勢は一層厳しく、本市の財政状況においても影響が考えられる中、「人と時代に選ばれる リーディングシティ亀岡」の実現に向けて、ふるさと力向上寄附金等を活用し、子どもファースト宣言に基づく各種施策の展開による子育て支援や教育環境の充実をはじめ、環境問題への取組や安全・安心で良好な暮らしの確保、観光資源の魅力向上を図るなど、過去最大規模の積極的な予算編成となっており、市民福祉の増進につながるものと評価する。詳しくは本会議にて述べさせていただきます。

<松山委員>

亀岡社中を代表して、第1号議案一般会計予算に賛成の立場で討論する。市民の財産と生命を守るための積極的な予算編成である。財源確保の手法についても、ふるさと納税を原資としたふるさと力向上基金を活用し、市債の抑制も図られている。同時に、子どもファースト宣言に基づく次世代への投資、多子世帯への子育て支援施策、また、これから徐々に経済活動が緩和される中で市内経済の回復をすべく施策も附随していると認識している。今後は本市の持続可能なさらなる歳入確保も含め、大いに期待するものであり、おおむね了として賛同している。詳しくは本会議にて述べさせていただきます。

(4) 採決

<富谷委員長>

ただいまから、予算特別委員会に付託された令和5年度亀岡市予算案について、順次採決を行う。

第1号議案（一般会計）	賛成多数	※反対：大西、片山、三上
第2号議案（国保特別会計）	全員賛成	
第3号議案（休日診療特別会計）	全員賛成	
第4号議案（介護保険特別会計）	全員賛成	

第5号議案（後期高齢特別会計）	全員賛成	
第6号議案（土地取得特別会計）	全員賛成	
第7号議案（曾我部山林特別会計）	全員賛成	
第8号議案（水道事業会計）	賛成多数	※反対：大西、片山、三上
第9号議案（下水道事業会計）	全員賛成	
第10号議案（病院事業会計）	全員賛成	
第11～40号議案（30財産区）	全員賛成	

（5）指摘要望事項

<富谷委員長>

各分科会の指摘要望事項をお手元に配付している。この各分科会からの指摘要望事項を取りまとめ、予算特別委員会全体の指摘要望事項として取り扱うことについて意見はないか。

—意見なし—

<富谷委員長>

それでは、これを予算特別委員会全体の指摘要望事項とする。

2 その他

（1）予算特別委員長報告について

<富谷委員長>

本日の特別委員会全体会の冒頭で各分科会委員長から報告いただいた内容をもとに、予算特別委員会正副委員長と各分科会委員長との協議により、予算特別委員会全体会の委員長報告として作成させていただき、3月議会最終日となる3月27日の予算特別委員会において確認することとなるので了承願う。その他、委員長報告に盛り込むべき事項はないか。

—意見なし—

<富谷委員長>

それでは、正副委員長及び分科会委員長に一任いただきたいがよいか。

—全員了—

（2）議会だよりについて

<富谷委員長>

議会だよりの記事については、正副委員長及び各分科会委員長に一任いただきたいが、特にお知らせすべき事項はないか。

—意見なし—

<富谷委員長>

それでは、正副委員長及び分科会委員長に一任いただく。これで予算特別委員会全体会の採決までが無事終了した。これまでの慎重かつ円滑な予算審査に感謝申し上げます。

散会 14：48